

バリオスピード / バリオチェストハーネス 取扱説明書

※本製品をご使用される前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

ご使用前に

- ◆取扱説明書末尾の警告文をお読み下さい。
- ◆正しいハーネスの装着法を習得して下さい。
- ◆ハーネスへの正しいロープの結び付け方を習得して下さい。
- ◆ハーネスを装着して安全な場所でぶら下がり、適正にフィットしているかテストして下さい。
- ◆バリオスピードハーネスは CEN(ヨーロッパ標準化機構)の基準 EN12277 により、タイプ C シットハーネスに区分されます。

1年間保証

ご購入いただいたから 1 年間、第一購入者に限り、品質もしくは製造上の欠陥が見つかった場合、無償交換いたします。欠陥が見つかった場合、ご購入店にお持ち込みいただくか、輸入代理店に直接お送り下さい。製品を無償にて新品交換いたします。無償交換をこの保証における義務の上限とし、保証期間の満了とともにその義務も終了するものとします。

保証の対象外

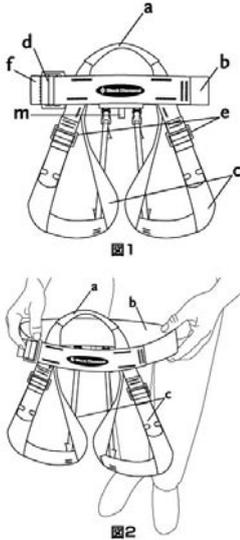
以下のケースは 1 年間保証の対象外となります。

- ◆通常の損耗
- ◆メーカーが認めている以外の部品を交換したり、製品に改造を加えたことによる損傷
- ◆間違った使い方や手入れによる損傷
- ◆事故、不注意、目的外の使い方をしたことによって生じた損傷

○バリオスピードハーネス

装着法

1. ハーネスのタインポイント (a) が身体の正面方向を向くようにして持ち、ウェストベルト (b) からレッグループ (c) に足を通して腰に引き上げて下さい (図 2)。
 2. ウェストベルトがウエスト (腰骨の上) にぴったりとフィットするまでバックル (d) を締めて下さい。
- 警告:** ウェストベルトのウェビングはバックルから抜けないように折り返して縫ってあります。このウェビングをバックルから外そうとしないで下さい。
3. レッグループが腿の周りに適度にフィットするようにバックル (e) を締めて下さい (図 3)。
- 留意:** ハーネスの各ベルトが不快なまでに締め付けられていないことを常にチェックして下さい。
4. ウェストベルトの末端は適度に調整された後、バックルから最低 8cm の余裕がなくてはなりません (図 4)。
 5. 後部のエラスチックストラップが背骨の左右に均等に位置するように調整して下さい。



↑ P.1

サイジングについての注意

- ◆バリオスピードハーネスは 1 サイズで成人のほぼすべての身体にフィットするように、ウェストは最大 107cm まで調整できるように設計されています。バリオスピードハーネスは体重 114kg 以上の方にはご使用いただけません。18 歳未満の方は成人の監督下でバリオスピードハーネスをご使用下さい。
- ◆ハーネスは身体に適正にフィットしてはなりません。ハーネスをご使用になる前に安全な場所でぶら下がり、ハーネスが正しく快適にフィットしていることを確認して下さい。
- ◆ハーネスが正しくフィットしているかどうか不安が残る場合は、適切なクライミングインストラクターからアドバイスを受けて下さい。

ロープの結び付け方

- ◆クライミングロープはタインループに図 5 のように結びつけて下さい。**間違った結び方をすると死亡または重傷を負う可能性があります。**
- 留意:** クライミングロープは必ずタインループに直接結びつけて下さい。ホールループやロックンカラビナを介しての結索は避けて下さい。
- ◆ハーネスを装着したときはロープが正しく結びつけられているか、バックルは正しく調整されているか再確認して下さい。

確保と懸垂下降

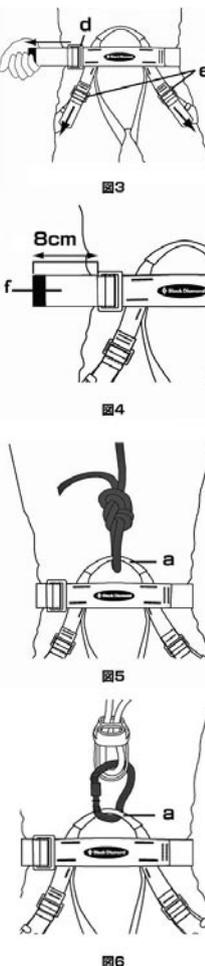
- ◆確保と下降器具は図 6 のようにタインループにロックンカラビナを介して装着して下さい。
- ◆留意: 救助活動でクライマーを引き上げる場合は救助用ロックンカラビナをタインループ (a) に直接装着して下さい。
- ◆ブラックダイヤモンドハーネスのタインループの強度は 15kN です。

○バリオチェストハーネス

バリオチェストハーネスは、上体が重いクライマーや、重いバックを背負ったクライマー、そして気を失ったクライマーがロープにぶら下がったときにゆっくり返らないように頭を上にした姿勢を保つてくれます。バリオチェストハーネスは必ずタイプ C のシットハーネスと併用して下さい。決して単体では使用しないで下さい。※バリオチェストハーネスは CEN(ヨーロッパ標準化機構)の基準 EN12277 でタイプ D シットハーネスに区分されます。

装着法

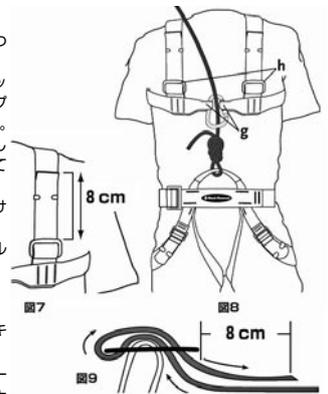
1. 図 8 のようにチェストハーネスのクリップインループ (g) が胸の高さに位置するように装着して下さい。
2. バックル (h) で適度にフィットするように調整して下さい (図 8)。
3. バックル (h) にウェビングを正しく通して調整した後、ウェビング末端はバックルから 8cm の余裕がなくてはなりません (図 7、9)。
4. 図 9 のようにウェビングはバックルに折り返して通して下さい。
5. 図 8 のようにクリップインループ (g) をロックンカラビナで連結して下さい。



↑ P.2

ロープの結び付け方

- ◆図 5 のようにロープを正しくタイプ C シットハーネスに結びつけて下さい。
- ◆図 8 のようにチェストハーネスのクリップインループ (g) をロックンカラビナで連結し、シットハーネスに結びつけたロープをロックンカラビナに通し安全環をしっかりと締めて下さい。
- ◆ご使用になる前にチェストハーネスとシットハーネスを装着して安全な場所でぶら下がり、正しく快適にサイズ調整がされているかチェックして下さい。
- ◆ロープをチェストハーネスとシットハーネスに正しく結びつけなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。
- ◆ハーネスを装着した後、ロープの結び目とハーネスのバックルは必ず再確認して下さい。



懸垂下降

- ◆下降器具はタイプ C シットハーネスのタインループにロックンカラビナで装着して下さい (図 6)。
- ◆下降用ロープを図 8 のバリオチェストハーネスのタインループに装着したロックンカラビナに通して下さい。懸垂下降中に適正な上体の角度を保つためにチェストハーネスのロックンカラビナにもう 1 枚ロックンカラビナか、ロックンカラビナとスリングを加えてロープとの距離が必要な場合があります。
- ◆下降の前にバックルがゆるんでいないか、確保器具が正しく装着されているか必ず再確認して下さい。
- ◆救助でクライマーを引き上げる場合、救助用ロックンカラビナをタインループ (a) またはビレーループに直接装着して下さい。レスキューロープをチェストハーネスのクリップインループを連結しているロックンカラビナにクリップして下さい。ブラックダイヤモンドハーネスのタインループには 15kN の強度があります。

警告

- ◆クライミングや登山において経験は非常に重要です。自分の経験が十分でないと感じる場合は、プロの山岳ガイドや経験豊かな指導者の下でクライミングを行い、ハーネスを使用して下さい。
- ◆ハーネスを装着するとき、ロープを結ぶときは十分な注意を払い、一連の動作を完全に習慣付けて下さい。装着中は他のことに注意を取らないで下さい。使用中もバックルに緩みがないこと、ロープが正しく結びつけられていることを常に確認して下さい。
- ◆ウェストベルト後方のホールループ (m) は、バックロープを牽引するためのものです。懸垂下降に使ったり、メインロープを結び付けたり絶対にしないで下さい。
- ◆バックパックを背負ってシットハーネスを使用する場合はチェストハーネス (タイプ D ハーネス) との併用をお勧めします。チェストハーネスとの併用により墜落時にバックの重みで身体が逆さまになるのを防ぎます。
- ◆墜落時に意識を失った場合、タイプ C シットハーネスだけでは頭を上にした正しい姿勢を保つことはできません。

他製品との併用

本製品は CEN(ヨーロッパ標準化機構)の規格に適合した登山用品と併用して下さい。

手入れとメンテナンス

- ◆ハーネスが汚れた場合、ぬるま湯を使い手洗ひまたは洗濯機を低回転にして洗って下さい。中性の洗濯石けんを使い、漂白剤は使用しないで下さい。洗濯後は直射日光を避け、自然乾燥させて下さい。
- ◆バタリー液、溶剤、ガンリンなどの腐食性物質に触れないように注意して下さい。
- ◆ハーネスは 60°C 以上もしくは -62°C 以下の環境に置かないで下さい。
- ◆縫い目、縫い直したり、ほつれた糸を繕きつづいたり、ウェビングを漂白したり、バックルを研いだり、改造したりなど、いかなる変更もハーネスに加えしないで下さい。
- ◆中古品を購入しないで下さい。どのように使われたかの履歴の分からないギアは信頼性に欠け大変危険です。

↑ P.3

保管と運搬

- ◆ハーネスを濡れたままで保管しないで下さい。
- ◆直射日光を避け清潔で乾いた場所に保管して下さい。ストーブなど高温を発生する物の近くに保管しないで下さい。
- ◆動物が近づかない場所に保存して下さい。
- ◆ナイロン製品はかび、紫外線、高温などにより急激に劣化しますが、適切に保管しても経年変化により徐々に劣化します。たとえ使用しなくても 10 年以上保管したハーネスは破棄して下さい。
- ◆ハーネスを持ち運ぶ時には鋭利な物で傷つけないように注意して下さい。

寿命

通常の使用と適切な手入れをした場合、寿命の目安はおおよそ 3 年ですが、使用頻度や使用状況によって寿命は左右されます。ハーネスの寿命を縮める要因: 墜落、磨耗、裂け、折り切れ、熱、紫外線、腐食剤

点検と処分

- ◆使用前後に傷みや磨耗がないか点検して下さい。ハーネスに下記の症状がみられたら使用を止めて処分して下さい。
- ◆ウェビングに切れ目や穴が開いている。
- ◆ウェビングが焼けたり焦げたり融けたりしている。
- ◆縫い目がほつれたり、ウェビングにひどい磨耗がみられる。
- ◆パーツの縫い目がひどく傷んだりすり切れたりしている。
- ◆バックルがひび割れたりバリがあったり傷ついたり変形している。
- ◆ウェビングが紫外線で退色している。
- ◆激しい墜落を受け止めたハーネスは、目に見えなくともひどいダメージを受けている可能性があります。ハーネスの信頼性に少しでも疑いを感じたときには、使用を止めて新品に買い換えて下さい。寿命を迎えたハーネスは再利用を防ぐため処分して下さい。
- ◆バリオスピードハーネスとバリオチェストハーネスは EN12277 (登山用ハーネスの安全基準とテスト方法) についてのヨーロッパ規格) に適合しています。

マーキング

- ◆ハーネスには下記のようなマーキングが記載されています。
- ◆ **BLACK DIAMOND**: メーカー名
- ◆ **BD**: ブラックダイヤモンドのロゴ
- ◆ **CE0082**: このマークはヨーロッパ規格を表し、ブラックダイヤモンド社の登山用ハーネスとその製品試験が、個人保護器具に関する指令 (89/686/EEC) の 11A 条項の要求を満たしていることを示しています。認証機関は Cete APAVE Sudeurope, BP193 13322 Marseille Cedex 16, France (認証番号 0082) また、ブラックダイヤモンド社 ISO9001 認証企業です。認証機関は AFAQ-ASCERT International, 116 avenue Aristide Briand, 92225 BAGNEUX France.
- ◆ **RN ラベル**: ウェストベルト内側のタグには、製品名が記載されています。
- ◆留意: ブラックダイヤモンドテクニカルハーネスを使用するユーザーが受け入れる必要のある、クライミングに本来存在している危険と、自己責任を記してあります。

警告

本製品はロッククライミング及び登山以外の用途には使用できません。ロッククライミング及び登山は危険を伴う行為です。そのことを事前に理解し、危険を受け入れることが必要です。また、その行為中の行動と判断は本人の責任において下さい。本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている使用方法と警告を理解し、製品の性能と限界を熟知しておいて下さい。全てのクライマーは適切な指導者から技術を習得することをお勧めします。ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

ブラックダイヤモンド日本総代理店
株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

TEL: 049-271-7113 (ユーザーサポート) e-mail: info@lostarrow.co.jp

↑ P.4